

高等学校保健体育科採点基準

5枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]		採 点 上 の 注 意	配 点	
1	1	(ア)	運動の特性に応じた技能		各 3 × 3	
		(イ)	他者に伝える力			
		(ウ)	運動に親しむ			
	(2)	個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	6	27	
2	(ア)	7		各 3 × 4		
	(イ)	10				
	(ウ)	6				
	(エ)	2				
2	1	プラトーンは、もてる力を発揮できているが、その力がのび悩んでいる状態であるのに対し、スランプは、上級者に生じるもので、実力があるのに、それを発揮できていない状態である。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	6	26	
	2	(1)	<ul style="list-style-type: none"> 企業 <ul style="list-style-type: none"> さまざまな大会を財政的に支援している。 競技者を積極的に雇用し、活用してスポーツ教室を開催している。 市民 <ul style="list-style-type: none"> スポーツボランティアとして各種の大会でその運営に携わっている。 NPO（特定非営利活動法人）としてスポーツクラブを立ち上げている。 	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。		各 4 × 2
		(2)	第3期スポーツ基本計画			
	3	可能性	スポーツには、健康で生き生きとした生活をもたらしたり、様々な人々とながったりするなどの可能性がある。	問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。		各 4 × 2
問題点		スポーツには、過度な運動による健康への悪影響や勝利を優先する余り人間関係を悪化させるなどの問題点がある。				

高等学校保健体育科採点基準

5枚のうち2

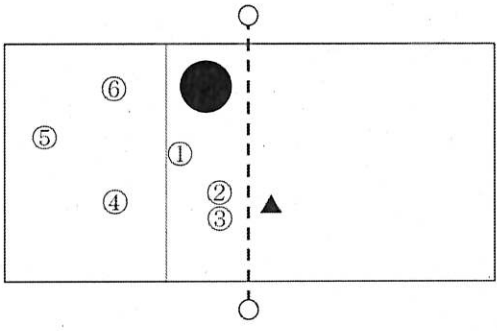
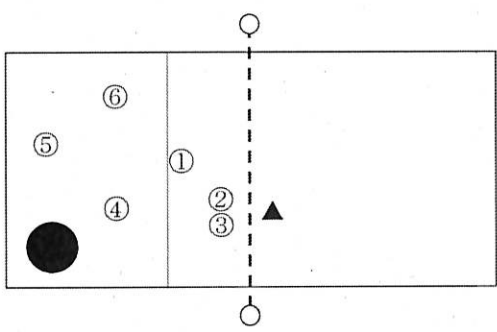
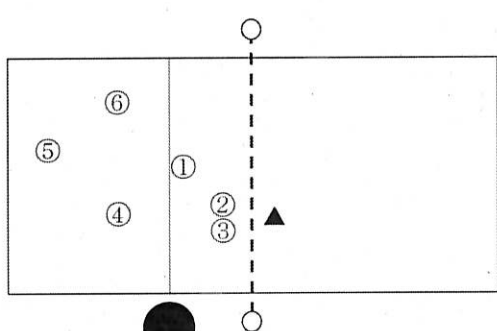
【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
3	1 ・「鉄棒運動」 ・「平均台運動」 ・「跳び箱運動」	順序は問わない。 全部合っているものだけを 正答とする。	4
	2 ほん転技群		4
	3 図1 伸膝後転		各 4 × 2
	図2 Y字バランス		
4	<p>技術的 な要因</p> <p>①倒立から前転するとき、体の力を抜いてしまう。 ②腰と膝の曲がり早い。</p> <p>練習</p> <p>①三点倒立により、頭頂・額及び両手で体を支持する感 覚を身に付けさせ、回転を始める際に、腰角を広く保 ったまま回転する練習をさせる。 ②背支持倒立の姿勢で腰と膝を伸ばす感覚を身に付け させ、補助倒立から前転の練習をさせる。</p>	<p>1つ書かれていればよい。 技術的な要因と練習が対応 しているものだけを正答とす る。 問いを正しく捉えていれ ば、内容は異なってもよい。</p>	10
4	1 (1) 走る距離は、1,000～3,000m 程度を目安とするが、生徒の体力 や技能の程度や気候等の状況に応じて弾力的に扱うようにす る。	内容を正しく捉えていれ ば、表現は異なってもよい。	6
	(2) 身長や速度と比較して、小さい歩幅で足の回転を速くする走法。	内容を正しく捉えていれ ば、表現は異なってもよい。	4
	2 (1) ・踏み切りでは、上体を起こしてキックすること。 ・踏み切りでは、地面を踏みつけるようにキックすること。 ・踏み切りでは、振り上げ脚を素早く引き上げること。	2つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれ ば、表現は異なってもよい。	各 4 × 2
	(2) 踏み切った後に空中で体全体を反らせた状態になり、その後、 両腕を下ろしながら両足を前方に出して着地する跳び方のこ と。	内容を正しく捉えていれ ば、表現は異なってもよい。	6

26

24

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号		正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
1	(1)	(a) 3秒より長くボールを保持する。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 3 × 3	
		(b) ボールを持って4歩以上歩く。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。		
		(c) パッシブプレー	パッシブプレイ もよい。		
	(2)	ディフェンスに隠れてうつシュート	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	4	
(3)	スローオフ			4	
5	(1)	コート図		2つ書かれていればよい。 コート図と意図が対応しているものだけを正答とする。 問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。	5 3
		意図	ブロックのいないところである①のレシーバーとサイドラインの間にスペースがあるので、そのスペースを狙って強打のクロススパイクを打つ。		
		コート図			
		意図	④のレシーバーの後方にレシーバーのいないスペースがあるので、そのスペースを狙って、ブロックを越える軟打のストレートスパイクを打つ。		
		コート図			
意図	③のブロッカーの手に当ててブロックアウトを狙うため、③の右手小指側を狙って、強打のストレートスパイクを打つ。				

高等学校保健体育科採点基準

5枚のうち4

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
5	<p>2</p> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サービスは1回1本。 ・ブロックによる触球は回数に数えず、その後3回プレーできる。 ・同一チームの2人が同時にボールに触れたとき、2回ボールに触れたこととなり、その2人は連続してボールに触れることができない。 ・チーム第1球目の触球は1つの動作中であれば、体の2か所以上に連続して触れてもよい。 ・返球ボールがネットに触れた場合、ネットにかけたプレーヤーが続けてプレーしてはいけない。 ・ボールがネットに触れた場合でも、そのボールへの触球も含めて3回までの触球で返球しなければならない。 ・ブロックの場合に限り、相手コート内にあるボールにネットを越えて触れてもよい。 ・サービスしたボールは、ネット上を通過するときネットに触れてもよい。 ・バックプレーヤーは、ブロックに参加してはいけない。 ・センターラインを越えて相手コートに侵入してはいけない。 ・バックプレーヤーが、フロントゾーン内でネット上端よりも完全に高い位置にあるボールをヒットしてアタックヒットを行ってはいけない。 	<p>2つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。</p>	<p>各 4 × 2</p>
	<p>(3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボール全体がネット上端より高い位置にあるときに、リベロプレーヤーがアタックヒットを行ったとき。 ・リベロプレーヤーが、サービスを行ったとき。 ・リベロプレーヤーが、ブロック、またはブロックの試みを行ったとき。 ・リベロプレーヤーが、自チームのフロントゾーン内で指を使ったオーバーハンドパスで上げたボールがネット上端より完全に高い位置にあるときに、他の選手がアタックヒットを行ったとき。 	<p>3つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。</p>	<p>各 4 × 3</p>

高等学校保健体育科採点基準

5枚のうち5

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
6	1 払い面	すり上げ面 もよい。	4	
	2 <ul style="list-style-type: none"> ・ 禁止薬物を使用または保持する。 ・ 審判員または相手に対し、非礼な言動をする。 ・ 定められた以外の用具（不正用具）を使用する。 ・ 相手に足を掛けまたは払う。 ・ 相手を不当に場外に出す。 ・ 試合中に場外に出る。 ・ 自分の竹刀を落とす。 ・ 不当な中止要請をする。 ・ 相手に手をかけまたは抱え込む。 ・ 相手の竹刀を握るまたは自分の竹刀の刃部を握る。 ・ 相手の竹刀を抱える。 ・ 相手の肩に故意に竹刀をかける。 ・ 倒れたとき、相手の攻撃に対応することなく、うつ伏せなどになる。 ・ 故意に時間の空費をする。 ・ 不当なつば（顰）競り合いおよび打突をする。 	3つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 3	
	3	図1 引き分けのとき	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 3 × 4
		図2 中止のとき		
図3 分かれのとき				
図4 反則のとき				
7	1 <ul style="list-style-type: none"> ・ アレルギーのある人 ・ 過去にひどい副作用を経験したことがある人 ・ 医師の治療を受けている人 ・ 肝臓や腎臓など、薬の成分を代謝・排泄する臓器に疾患のある人 ・ 他にも薬を飲んでいる人 ・ 妊娠の可能性のある女性、妊娠している女性、授乳中の女性 ・ 高齢者 ・ 高いところで作業をする人 ・ 乗り物・機械類の運転操作をする人 	2つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各 4 × 2	
	2 要指導医薬品は、薬剤師から対面での情報提供や指導を受けなければ購入できず、インターネットでの購入もできないのに対し、一般用医薬品は、症状などを自分で判断して薬局などで購入でき、インターネットでの購入もできる。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	8	